

[実践的研究]

日本語のアスペクト形式「ている」の中国語訳について

黄 春玉*

On the Chinese translation of the Japanese forms “teiru”

Chunyu HUANG*

Abstract

“teiru” can be followed by an action verb or a change verb to indicate the continuation of the state,. Therefore, “Zhe” can only be followed by a verb with continuous meaning, the sentence 「雪が10センチは降っている」 can not be translated into “～Zhe ” . As for these mistranslations caused by the lack of understanding of the term, this paper, on the basis of a full analysis of the differences between Japanese and Chinese tense and aspect expressions, makes an exposition in order to provide reference for teaching translation.

KEY WORDS : Aspect “zhe” “teiru” Persistent state

1. はじめに

アスペクトは広くはアスペクチュアリティと言われ、テンスやテキストに関わり、膨大で複雑な文法カテゴリーである。特に中国語では明確なアスペクトカテゴリーの有無さえ議論の焦点となり、定かでない問題点が多く残っている。中では“了”“着”は文法化したアスペクト形式であるということは広く認められている(龔千炎1991:189)。

日本語において工藤(1995:23)は、アスペクトは出来事内部の時間的姿であるとしている。動作の持続、動作の完了、対象の状態変化、変化した後の結果状態の継続といった概念はアスペクト範疇に含まれる。

- (1) 彼はご飯を食べている。 <動作持続>
- (2) 彼はご飯を食べた。 <動作完了>
- (3) 木が倒れている。 <結果状態>
- (4) 木が倒れた。 <変化>

このようなアスペクト表現において日本語と中国語は大きく異なっている。中国語では文脈や文の意味によってアスペクト的意味が表されるがゆえに、アスペクトマーカが“了”や“着”のように限られており、その機能もそれほど発達していないと思われる。例えば「木が倒れた/ている」という表現は「変化」と「結果状態」を表し、それぞれ「た」と「ている」でマークされている。これを中国語に訳すといずれも“树倒了”である。これは文脈のサポートがない限り、「完了」としかとらえられず、「結果状態」の意味を表さない表現となる。

本稿では主に日本語の「ている」表現を中国語に訳する際、誤用されやすい問題点を取り上げて分析し、アスペクトにおける日中両言語の食い違いを検討する。

2. 「ている」の定義について

アスペクト形式「ている」の表す基本的な意味は状態の持続である。状態持続は基本的に動作の持続と結果状態の持続に分かれる。動作状態の持続は分かりやすいのに対し、結果状態の持続は多義性が生じられる。次に結果状態を中心に述べていきたい。

「結果状態」とは動作の完了の後、主体や対象の変化した後の持続状態を表すが、広義的には効力の意味も含まれる。ゆえに結果状態は「狭義の結果状態」と「広義の結果状態」の二つに下位区分することができる。前者は参照時(出来事時点の後の時点)の状態持続を重点として表し、「状態パーフェクト」であり、

後者は先行変化によって生じた参照時への効力を重点として表すとされている。このことは次のようにまとめることができる。

結果状態

- 狭義の結果状態 <状態持続> ----状態パーフェクト
- 広義の結果状態 <効力> -----効力パーフェクト

次の例(5)は参照時における「字」の状態持続を表し、狭義の結果状態である。例(6)は参照時への効力を示し、広義の結果状態である。

- (5) 字が書いてある。 <状態持続>
- (6) 彼はアメリカに行っている。 <効力>

結果状態は一つのアスペクト的カテゴリーとして常に時間性を問題にする概念である。次の例(7)(8)のように属性を表すものは時間性を問題としないので、結果状態とはいえ、通常は単純状態と言われる(寺村1984:138, 工藤1995:39)。

- (7) 日本は海に囲まれている。
- (8) あの人はずぐれている。

中国語の結果状態は筆者の知る限りでは通常狭義の結果状態を指すが、「効力」を表す広義の結果状態は含まれていない。中国語の結果状態は一般的に“着”で表される(楊凱榮2001:66, 王学群2002:98)。また、“墙上挂了一张画”のような存現文に“了”が使われることもある(楊凱榮2001:72)。存現文では“了”と“着”のいずれを使っても結果状態の意味を表すが、この場合の“了”と“着”は中和されるのだと指摘した先行研究もある(劉宁生1985)。これに対して、楊凱榮(2001)は副詞“还”及び動作主との共起の立場から存現文の“了”と“着”は意味が異なるものだと指摘した(p.73)。また、戴耀晶(1997)は“了”は事態を外部からひとまとまりの事象としてとらえ、“着”は事態の内部に立ち入って観察し、状態を表すと両者の違いを指摘した。本稿も楊凱榮(2001)と戴耀晶(1997)の立場を取る。“了”と“着”は存現文において結果状態の意味を表すが、やはり「完了」か「持続」かで両者のプロファイルの焦点が異なる。

3. 日本語と中国語のアスペクトにおける違い

中国語では日本語のように結果状態を二分類することはできない。例(5)(6)を中国語に訳すと次のようになる。

(5) 写着字.

(6) 他去美国了.

訳文から分かるように(5)のような結果状態を表す場合は中国語の“着”というアスペクトマーカが使われるが、(6)のような効力を表す場合は中国語では“了”が用いられる。この場合の“了”は通常「完了」の意味としてとらえ、効力を表すものではない。例(7)(8)を中国語に訳すと次のようになる。

(7) 日本四面环海.

(8) 他很优秀.

この訳文を見て分かるように、中国語ではいずれもアスペクトマーカは使われていない。つまり、このような単純状態を表す表現はアスペクト助詞は使われない。

次の例では参照時“昨天”[昨日]“夜阑人散时”[夜遅く人が去ったとき]“那年”[その年]はそれぞれ“饿死了”[餓死した]“累倒了”[疲れて倒れた]“打伤了”[負傷した]という変化発生時と同じ時点であるので、変化が生じることを表す表現であり、結果状態の表現

ではないとすることができる。

(9) 昨天我的妻子饿死了. 《猫城记》

[昨日私の妻は餓死した]

(10) 夜阑人散时, 自己就累倒了.

《冰心作品集・1949年》

[夜遅く人が去ったとき, 自分は疲れて倒れた]

(11) 那年暴动, 他跟着县里的保卫团追剿农民, 打伤了一只眼.

[その年, 暴動が起こり, 彼は県の保安団について農民を討伐に出かけ, 片目を負傷した]《风云初记》

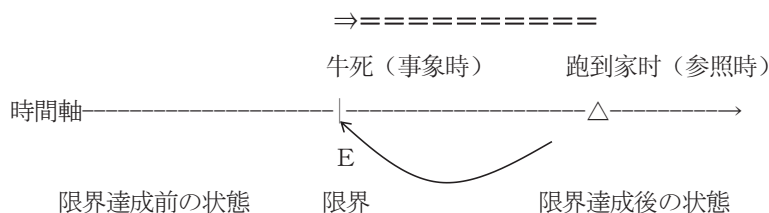
このような結果状態ではなく、変化の発生を表す表現では中国語の“了”は日本語の「た」と対応すると考えられる。

これに対し、次の結果状態の例(12)では参照時“跑到家时”[家に駆けつけたとき]は事象時“牛死”[牛が死ぬ]の後に位置しており、この文はパーフェクトの意味が表されている。

(12) 跑到家时, 牛已经死两个小时了.

<結果状態>

[家に駆けつけたとき, 牛は二時間前にすでに死んでいた]



【図1】結果状態の時間軸

この場合、“了”は参照時においてすでに二時間に至ったという意味を表し、文のパーフェクト的意味は“了”によって表すものではなく、文中の時間成分から読み取れるのである。しかし、日本語ではそのパーフェクト的意味は「ていた」で表さなければならない。もう少し例を見てみよう。

(13) 在我到了悬人头之处以前, 已经挤死了三位老人两个女子.

[私が人間の首が掛けてあるところに到着する前に, 三人の老人と二人の女性が雑踏にもまれて圧死していた]

(14) 一进门, 见家里院里, 乱七八糟, 花瓶, 自鸣钟, 玻璃窗子都打碎了, 红油箱柜大开, 盖子扔在一旁, 油坛子酱罐子也搬倒了, 红的黑的流下一地.

《吕梁英雄传》

[家の玄関に入ってみると, 部屋と庭の中はごたごたして、花瓶や時計やガラス窓はたたき壊され, 赤いペンキの箱は開いていて, 蓋は傍らに捨てられ, 油壺や味噌壺も倒されていて, 赤いものや黒いものが地面いっぱいに流れていた]

例(13)(14)から分かるようにこのようなパーフェクトの表現では中国語は“了”で表し、日本語はいずれも「ている」を用いられる。

以上の考察から分かるように、狭義の結果状態<状態持続>を表す場合、「ている」は中国語の“着”と対応する。広義の結果状態<効力>を表す場合、「ている」に対応する中国語のアスペクトマーカはないと考えられる。このことから、次のことが更に裏付けられる。中国語のアスペクト成分はそれぞれ柔軟に使

用され、更に構文に現れず、潜在的成分となることもある。これは中国語の「構造が独特で、柔軟性に富み、含みが多く、意味重視」といった特徴を表している(龚千炎1991:191)。

4. 動詞の分類とアスペクト

4.1 日本語の動詞分類

工藤(1995)アスペクトの立場から日本語の動詞を以下のように分類している。

A 外的運動動詞

A1主体動作・客体変化動詞(開ける, 折る, 消す, 並べる…)

A2主体変化動詞(行く, 来る, 帰る, 立つ, 並ぶ, 開く…)

A3主体動作動詞(動かす, 回す, 打つ, 押す, 食べる, 見る…)

B 内的感情動詞

B1思考動詞(思う, 考える, 信じる, 期待する, 願う…)

B2感情動詞(あきらめる, うらむ, 恐れる, 感謝する…)

B3知覚動詞(あじがする, おとがする, 聞こえる, 見える…)

B4感覚動詞(痛む, 感じる, 疲れる, 震える, しびれる…)

C 静態動詞

C1存在動詞(ある, いる, 存在する…)

C2空間的配置動詞(そばえている, 面している, 隣接している…)

C3関係動詞(値する, 当たる, 相当する, 意味する, 異なる…)

C4特性動詞(甘すぎる, にあう, 話せる…)

4.2 動詞の分類とアスペクト

工藤(1995)はアスペクトに基づいて動詞分類を行ったのである。そのため、動詞の種類によって「ている」に後置された後の意味特徴も異なる。大雑把に言うと、運動動詞は「ている」に後置されると、動作の持続を表し、感情動詞は「ている」に後置されると感情や感覚を表し、静態動詞は「ている」に後置されると、存在や空間などを表す。結果的に言えば、これらの動詞は「ている」に後置されると、持続を表すという一般的特徴を有する。しかし、これらの「ている」表現は中国語に訳されると、様々な形がある。

4.3 文の多義性

次の例のように、「ている」表現では多義性がよく見られる。

(15) 太郎が腕をまくっている。

(動作/結果)(高見・久野2006:111)

(16) 太郎が自分の部屋のドアを閉めている。

(動作/結果)(高見・久野2006:111)

(15)は太郎が腕をまくるという動作を継続していることを表すととらえることもできれば、太郎の腕がまくってあるという結果の状態を表すととらえることもできる。同様に、(16)は太郎がドアを閉めるという動作を継続していることを表すととらえられる一方、太郎のドアが閉まっているという結果の状態を表すととらえられる。この多義性が生じる原因は動詞自体の多義性にあると思われる。例えば「まくる」という動詞自身はまくる時の動作のまくった後の結果の意味が含まれている。そのため、この動詞が「ている」に後置されると、動作と結果の二通りの解釈ができるのである。同様に、「閉める」も閉める動作の意味を表す一方、閉めた後の結果の意味をも表す。そのため、多義的にとらえられる。逆に、もし、動詞自身は動作と結果の両方の意味が含まれなければ、「ている」が後置されても多義的にはとらえられないのである。例えば、「殺す」「殴る」「食べる」「歌う」などの動作動詞は「ている」が後接されて動作の意味のみ表し、結果の状態を表さない。上記の工藤(1995)の動詞の分類から見れば、多義性を表すのはA1類動詞であると思われる。また、一部の動詞において動詞自身は動作の意味のみ表すが、文脈の影響により、結果状態の意味を表す場合もある。次の例を見てみよう。

(17) 昨夜の地震でタンスが少し動いている。

(結果状態)(三原1997:117)

(18) 雪が10センチは降っている。

(結果状態)(高見・久野2006)

(19) 私がもうテーブルの上は拭いている。

(結果状態)(高見・久野2006:113)

結果の意味の有無により、その動詞文が対応する中国語のアスペクト形式が異なる。結果の意味がある動詞は中国語に訳す時、“着”が使われ、結果の意味がない動詞は中国語に訳す場合、“了”が用いられる。

(15)～(19)は中国語に訳すと、次のようになる。

(15) 太郎挽着袖子。

(16) 太郎关着自己的屋门。

(17) 昨晚的地震, 衣柜(移)动了一点。

- (18) 雪下了10公分。
 (19) 桌子我已经擦了。

中国語では結果の意味を表さない動詞は“着”が付加されると、動作の持続のみ表し、結果の持続は表さない。そのため、(17)～(19)は中国語に訳すと“了”を使わなければならない。しかし、ここの訳文は完全に等値なわけではない。というのは日本語の「ている」は観察時の状態持続を表さなければならない。実際は中国語の“了”は日本語の「た」に対応するわけである。そのため、(17)～(19)を日本語に訳すと次のようになる。

- (17) 昨夜の地震でダンスが少し動いた。
 (18) 雪が10センチは降った。
 (19) 私がもうテーブルの上は拭いた。

したがって、日本語では結果の意味を表さない動詞は特定の文脈において「ている」が付加されると、結果状態を表すことができる。そして、このような「ている」表現に完全に対応する中国語の表現は存在しないのである。

4.4 動詞の表す持続的意味と「ている」

次の文において「ている」は中国語の“着”に訳すことができず、“了”に訳さなければならない。

- (20) 財布が無くなっている。
 → *钱包丢着。
 → 钱包丢了。
 (21) 時計が壊れている。
 → *表坏着。
 → 表坏了。
 (22) ズボンが破れている。
 → *裤子破着。
 → 裤子破了。
 (23) 木が倒れている。
 → *树倒着。
 → 树倒了。

中国語では“着”と共起できるのは持続的意味を表す動詞に限られており、“丢、坏、破、倒”といったような持続的意味を表さない動詞は“着”と共起できない。

では、動詞に持続的意味があるかないかはどのようにして確かめられるであろうか。これは期間を表す時間成分との共起によって確認できる。というのは持続的意味を表さない動詞はある期間を持続することを表すことができないことから、期間成分とも共起できないのである。次はその例である。

- (24) ?钱包丢了一个月。
 (25) ?表坏了10天。
 (26) ?裤子破了一年。
 (27) ?树倒了20天。

“丢、坏、破、倒”といった動詞は“一个月、10天、一年、20天”のような期間成分と共起できないので、持続的意味を表さない。

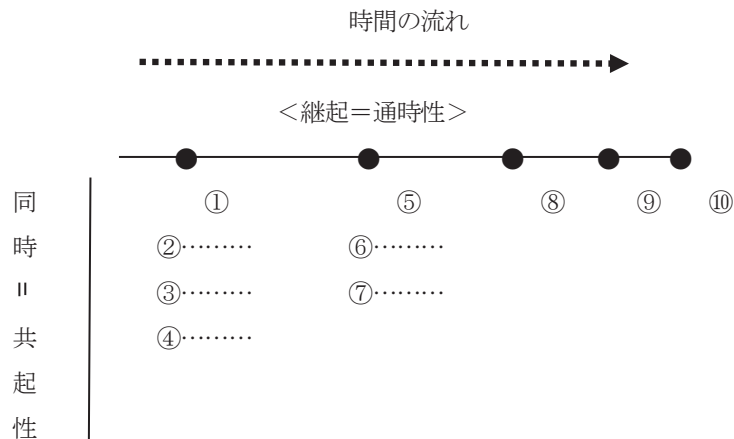
以上からわかるように、中国語の“着”の使用は動詞の意味に影響されており、“着”と共起できるのは持続的意味を有する動詞のみである。これに対し、「ている」はこのような制限がなく、動詞に持続的意味があるかないかにかかわらず、「ている」はそれと共起できる。

4.5 タクシス

工藤(1995:60)は「アスペクトは<他の出来事との外的時間関係のなかで、運動内部の時間的展開の姿をとらえる>ものであって、複数の出来事間の時間関係<タクシス>を表し分けるというテキスト的機能を果たす」と指摘している。「複数の出来事間の時間関係」について工藤(1995:64)は次の例を挙げて説明した。

- (28) かれは、追われるように崖に近い岩陰にとび込んだ^①。その狭い空間には、多くの兵と住民たちが身をかがめていた^②。兵の一人が、子供を抱いた女に銃をつきつけていた^③。「いいか、子供が泣いたら殺すぞ。敵に気づかれれば、火炎放射器で全員がやられるんだ」。女は機械的にうなずきつづけていた^④。そのうちに、ふと笑うような泣きむせぶような低い声が、背後できこえた^⑤。振り向くと、銃をつきつけられた女が、顔を仰向かせ、唇をふるわせている^⑥。女のかたくにぎりしめられた両掌の間には、ながい舌を突き出した嬰兒の首がしめつけられていた^⑦。「馬乗りがはじまった」駆けこんできた兵が、血の気の失せた顔で叫んだ^⑧。そして、「ここにも敵がくるぞ、火炎放射器でやられるぞ」と、言った^⑨。住民も兵も、おびえたように立ち上がった^⑩。

(殉国)



これを中国語に訳すと次のようになる。

他好像被人追赶，跳到了山崖附近的岩石后面。在那狭窄的空间里，很多士兵和居民卷曲着身体在那里隐藏着。一个士兵用枪顶着怀抱孩子的妇女。“听好了，孩子要是哭就杀了他！敌人一旦发现，大家都得被火焰喷射器烧死。”妇女机械地不停点头。过一会，突然从我背后传来了像哭又像笑的低沉的哽咽声。回头一看，那被抢顶着的妇女仰面朝天，嘴唇颤抖。在妇女紧握的两掌之间，婴儿的脖子被掐住，嘴里伸出了长长的舌头。一个兵跑过来面无血色地喊道，“开始骑马啦！”，还说，“敌人也会到这里，火焰喷射器会烧死我们！”居民和士兵都慌忙地站了起来。

(筆者訳)

この訳文から分かるように、「ている」は“着”と対応している。しかし、時間的關係から見ると「ている」は出来事の同時性を表すことができるのに対し、「着」はそのような時間的關係を表さない。次の例のように、時間的關係における「ている」と“着”の違いが明らかとなる。

(29) あくる日、私は彼の机に近寄って、その番組の話をした。彼も番組を見ていた。(工藤1995)

→ 第二天，我湊到他桌前，和他聊起了那个节目。他也看了那个节目。

この例では「彼も番組を見ていた」の「ていた」により、この動作が「話をした」という動作の前に発生したということが表されている。このような時間關係は中国語では明確に示す手段がないのである。そのため、「した」「ていた」はいずれも“了”に訳されて、「見ていた」という動作が「話をした」という動作の前に発生したということが反映されていないのである。次の例も同じことが言える。

(30) あなたが家庭をもつ頃には、わたしはもうとつくに死んでいるわよ。(工藤1995:97)

この文を中国語に訳すと“等你成家时，我早就死了呀”になる。問題はこの中国語を逆に日本語に訳すと「あなたが家庭をもつ頃には、わたしは*もう死んだわよ」のように誤訳するようになる。したがってここでは「ている」の表す同時性の使い方を十分理解しなくてはならない。次の例もやはり「ている」のこの使い方がわからないことによる誤用である。

(31) 我坐下了。接着，他忽然睁大眼睛，恶狠狠地瞪着我。

→ ? 私は腰をおろした。すると彼は突然眼を開き、私を憎らしげににらみつけていた。(→た)

“我坐下”と“他瞪我”は同時的關係ではなく前後關係であるから、日本語では「ている」で表すことができない。しかし、中国語の“着”は同時性を表さないので、ここに用いることができる。そしてこの表現は依然として前後關係を表すのである。

4.6 主観的感情感覚

日本語では主観的感情感覚を表す動詞は人称の制限を受ける。次の例を見てみよう。

(32) a私は痛みを感じる。

b彼は痛みを感じる。

(33) a私は嬉しく思う。

b田中さんは嬉しく思う。

(32) (33) ではいずれも話者の感情感覚が表されているので、主語は第一人称が用いられるが、第三人称が用いられると成立しにくい。第三人称の感情感覚を表すには「ている」表現に変えなければならない。

(32) c彼は痛みを感じている。

(33) c田中さんは嬉しく思っている。

ここの「ている」は状態持続を表すのではなく、話

者の観察を表すのである。「ている」は話者の観察を表すからこそ第三人称が主語である感情感覚の表現が成立するのである。このような表現は中国語に訳すとアスペクト助詞“着”または“了”が必要ではない。

(32) d他感觉疼痛.

(33) d田中先生觉得高兴.

中国語の訳文にはアスペクト助詞が不要であることから、逆に「ている」はアスペクト的機能を働いているだけではなく、話者の観察をも表すということが観察される。定延(2006)はこれを「エビデンシャル」と言い、すなわち、『観察によれば現在これこれこうである』という形で情報源を表す(p. 157)である。次の例においても「ている」は話者の観察を表すのである。

(34) 父は死ぬとと思っている.

この例も中国語に訳す場合、やはりアスペクト助詞が不要である。

(34) 爸爸觉得会死.

この例は「ている」が省かれると意味が違う。

(35) 父は死ぬと思う.

ここでは「ている」を用いて話者の観察された状態を表しておらず、話者の主観感覚を表すだけであるので、中国語に訳す場合、一人称の表現にしなければならない。

(35) 我(我)觉得爸爸会死.

以上の例から「ている」は観察された状態だけ表すということがわかる。この観察時の状態を表す場合は「た」ではなく、「ている」が用いられる。次の例を見よう。

(36) [給湯室の前を通ったら誰が沸かしたかはわからないがやかんの中のお湯が沸騰状態にある]

あれ、お湯が沸いた。／あれ、お湯が沸いている。(下地2011)

これに対し、中国語では観察時の状態は“着”ではなく、“了”で表すのである。(35)を中国語に訳すと次のようになる。

(36) 哟, 水开了。／哟, 水开着.

さらに次の例を見よう。

(37) あれ、雨が降っている.

(37) 哟, 下雨了。／哟, 下着雨.

観察された状態は日本語では「ている」で表すのに対し、中国語では“了”で表すのである。この場合、中国語では“着”で表せば不自然な表現になるのである。というのは中国語の“下着雨”は単なる状態の持続を表し、観察された状態を表さないからである。次の例を見よう。

の例を見よう。

(38) [外出先で雨が降り始めた。一緒にいる人が、発話時現在に傘を携帯しているかを確認する場面で.]

傘を*持ちました? / 持っていますか?

(下地2011)

*持ちました / 持っています.

このような文脈では中国語に訳すと以下のようになる。

(38) 你带雨伞了吗? ----- 带了.

你带着雨伞吗? ----- 带着.

話者の発話時の状態を表す場合、日本語では「ている」が用いられ、中国語では“了”が用いられる。これに対し、過去の出来事の確認は日本語では「た」で、中国語では“了”で表すのである。次はその例である。

(39) [出かける際に、一緒に出かける人が傘を忘れていないかどうかを確認する場面で。事前にその人物は傘を忘れることが多いという話題があった]

傘を持ちました? / 持っていますか?

(下地2011)

———持ちました / 持っています.

你带雨伞了吗? ----- 带了.

你带着雨伞吗? ----- 带着.

面白いことに過去の出来事の確認は中国語では“了”ではなく、“着”で表さなければならない。説明しておきたいのは“了”は過去の出来事の確認を表すことができないというわけではないということである。例えば、上の例は前に時間成分を入れると、“出来時你带雨伞了吗?”というような表現は問題なく成立する。もし過去を表す時間成分を入れないと、ただ“你带伞了吗?”だけ言えば、中国人は通常今現在傘を持っているかと理解される。つまり、“带伞了吗?”が対応する日本語は「カサを持っていますか」である。

5. 結論

本稿では日本語のアスペクト形式「ている」を中国語に訳す場合、誤訳されやすい問題を中心に考察を行った。その結果、以下のことが明らかとなった。

1) 「ている」は動作動詞と変化動詞に後置して状態の持続を表すことができるのに対し、中国語の“着”は持続的意味を持つ動詞にだけ後置して持続を表す。そのため、「雪が10センチは降っている」「猫が死んでいる」のような表現は中国語に訳す場合、“～着”

を用いられない。

Received date 2021年1月7日

Accepted date 2021年1月22日

- 2) “等你成家时, 我早就死了”のような表現は日本語に訳す場合, 「あなたが家庭をもつ頃には, 私はもう死んだわよ」のように, 誤訳されやすく, 「あなたが家庭をもつ頃には, 私はとっくに死んでいるわよ」のように訳されにくい。これは「ている」の使い方を十分理解していないことによる誤訳である。本稿では日本語と中国語のアスペクト形式の使い分けを分析した上で, その違いを明確にし, 誤訳を免れるように心がけている。
- 3) 日本語では観察された状態を「ている」で表すので, 「あれ, 雨が降っている」ということができる。これを中国語に訳すと, “哟, 下雨了”になり, “哟, 下着雨”ではない。つまり, “着”は状態しか表さず, 観察されたことを表さないからである。

参考文献

- 1) 木村英樹 (1997). 動詞接尾辞“了”の意味と表現機能. 中国語学論文集[C].
- 2) 工藤真由美 (1995). アスペクト・テンス体系とテキスト[M]. ひつじ書房, p.23.
- 3) 寺村秀夫 (1984). 日本語のシンタクスと意味II [M], くろしお出版.
- 4) 仁田義雄 (2002). 副詞的表現の諸相[M], くろしお出版.
- 5) 高見健一・久野暉 (2006). 日本語機能的構文研究[M]. 大修館書店, p.113.
- 6) 中川正之・定延利之 (2006). 言語に現れる「世間」と「世界」[M]. くろしお出版, p.163.
- 7) 下地早智子 (2011) 「視点の違いから見るアスペクト形式選択の日中差」. 第27回中日理論言語学研究会 (未公表).
- 8) 楊凱榮 (2001). 中国語の“了”について. Hituzi Linguistics Workshop Series No.5 「た」の言語学 [C]. ひつじ書房, p.26.
- 9) 戴耀晶 (1997) 現代汉语时体系统研究[M], 浙江教育出版社.
- 10) 龚千炎 (1991) .現代中国語のテンスとアスペクト体系. 中国語言語学情報2 テンスとアスペクトI [C]于康・張勤編, 好文出版.
- 11) 刘宁生 (1985). 论“着”及相关的两个动态范畴. 语言研究[J].
- 12) 王学群 (2002). “V着 (zhe)”再考. 日本語と中国語のアスペクト[C], 白帝社.